

「昭和産業グループ 環境目標」を設定しました

昭和産業株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 新妻一彦)は、3月11日(金)に開催したサステナビリティ委員会において「昭和産業グループ 環境目標」を決議し、本日開催の取締役会にて報告いたしました。

①CO2 排出量削減 目標

2030年度にCO2排出量を46%以上削減

対象:昭和産業グループ会社(連結子会社+生産系非連結子会社)

基準年:2013年度

②食品ロス削減 目標

2025年度に食品ロス発生量を30%以上削減

対象:昭和産業及び食品ロス発生量が100t/年以上のグループ会社
(昭和産業、スウィングベーカリー、グランソールベーカリー、
ガーデンベーカリー、タワーベーカリー、昭和冷凍食品の6社)

基準年:2018年度

③水使用量削減 目標

2030年度に水使用量原単位を12%以上削減

対象:昭和産業グループ会社

(水質汚濁防止法、下水道法による特定施設を有する事業者)

基準年:2019年度

原単位分母:生産量

当社グループは、「中期経営計画 20-22」の基本戦略③「社会的課題解決への貢献」において、「環境への配慮」を経営の重要課題の一つに設定しております。本計画において、CO2と食品ロスに関してはすでに目標を設定して活動を推進してまいりましたが、2021年の政府による「温室効果ガス2013年度比46%削減」の決定、ならびに昨今の環境課題に対する取り組みを強化すべく、これまでの目標を見直し、改めて設定したものです。

当社は、社長執行役員を委員長として、全役員と部署長が委員であるサステナビリティ委員会傘下の環境管理委員会(※)において、グループ会社も含めた推進体制を構築しております。さらに、環境管理委員会内に「環境3部会」を発足させ、各部会にて上記3課題の検討を進めております。

引き続き、環境配慮を当社グループの大きな使命と認識し、各種活動を推進してまいります。

【※】環境管理委員会

当社におけるサステナビリティ推進の決定機関である「サステナビリティ委員会」(委員長:代表取締役社長執行役員)の傘下の委員会で、グループを含めた環境問題全般に関する各種社会的課題の解決に向けた戦略策定および意思決定を担う組織。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松

TEL:03-3257-2042